



ライフドアすわ 地域ケア会議通信

発行：諏訪市地域医療・介護連携推進センター ライフドアすわ
〒392-0027 諏訪市湖岸通り5-12-5 Tel:0266-78-0477
e-mail: info@lifedoor-suwa.jp



令和7年度第1回「諏訪市地域包括ケア推進会議」を開催しました

令和7年5月16日（金）、諏訪市総合福祉センター3階「交流ひろば」において、令和7年度第1回「諏訪市地域包括ケア推進会議」が開催されました。この推進会議は令和4年度に1回試行的に開催し、令和5年度から年4回本格実施し、今回が第10回目の節目となる会議となりました。団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎え、諏訪市の高齢化率は31%を超え、少子高齢化と人口減少社会を迎えています。生産年齢人口が減少し、これから様々な職種で人材不足が深刻化になると言われており、介護職や医療職も例外ではなく、将来、介護が必要になった時に職員不足で受け入れてもらえないといったケースが発生する可能性があります。昨年度の地域ケア会議では、比較的軽度の事業対象者の方や要支援の方がデイサービス

に通い、身体機能が改善してもデイサービスに通うことが目的となっているケースについての話し合いを行いました。また、2月の地域ケア会議では、先進的な取り組みをしている奈良県生駒市の田中特命監を講師にお招きし、高齢者が自立して生活するための地域づくりと題して、3ヶ月から6ヶ月の短期間で運動機能の向上や栄養改善等のプログラムを実施する通所型サービスCの取組や様々なサービスを紹介いただきました。諏訪市では高齢者が社会資源を活用しながら自宅で自立して生活するためのサイクルを回していけるよう、今年度より介護サービスから自立した方にインセンティブを与えるセルフケア応援促進事業を開始しております。

【第1回諏訪市地域包括ケア推進会議】

*日時：5月16日（金）13:30～15:00

*会場：諏訪市総合福祉センター

*参加者：38名（内訳）医師1名、薬剤師4名、看護師2名、管理栄養士1名、主任介護支援専門員7名、介護支援専門員13名、社会福祉士3名、介護福祉士2名、生活支援コーディネーター1名、ボランティアコーディネーター1名、その他3名

*内容：1. 開会

2. 令和7年度諏訪市地域包括ケア推進会議について

①会議の進行について ・アンケート結果から

②会議の内容について ・2年間の振り返り ・自立サイクルの振り返り

③意見

3. グループワーク

4. その他

5. 閉会



令和7年度諏訪市地域包括ケア推進会について

①会議の進行について アンケート結果から

- ・年4回開催 開催時間は基本13:30～15:00とするが8月28（木）は18:30からとする。
- ・基本的にはグループワーク
- ・多くの職種の方の参加をお願いしたい。
- ・会議は多職種が顔を合わせて話し合いをする大切な場であるため、継続することに意味がある。

②会議内容について

1) 2年間の振り返り：令和5年度、令和6年度の地域包括ケア推進会議での意見を形にするために。

赤：既に行っている事、青：すぐに行える事、緑：時間をかけて検討が必要な事に分類し、青字で示した部分について今年度取り組みたい。

- ・利用サービスの提案は、自助、互助を大切に、特に地域の人との関わりを継続しながら、まずはインフォーマル支援につなげる事を大切に。

対応：アセスメント⇒状態に応じた支援の提案に使える情報誌の作成。

- ・車の運転ができるため、介護予防教室の参加や趣味の仲間づくり等活動の範囲を広げる。

対応：フレイル教室の充実、高齢者が通えそうな場所をまとめる（情報誌）。

- ・デイサービスも本人が求める目標を明確にし、共有し「卒業」を目指せると良い。

対応：事業所へ諏訪市の方向性を周知する。

- ・多様な趣味を生かして、自宅でサロンを立ち上げたらどうか。

対応：サロンの立ち上げ支援、サロンの紹介、サロンの見える化。

- ・認知症の方が出来ることを明確にし、働きたい方にはその場所・資源を提供する。

- ・本人の仕事の意味（やりがい、承認欲求、賃金等）を深掘し仕事のマッチング。

- ・障がい者、高齢者の就労資源が少ない。

- ・認知症カフェでボランティアとして活躍できそう。

- ・ご自宅、又はボランティアセンターでの作業は提案できそう。

対応：仕事は無理でも、ボランティア活動に、オレンジサポーター等の支援の担い手が一緒に参加してくれ、その支えでボランティア活動ができると良い。

- ・地域の活動、社会資源の見える化。

対応：相談業務に使える情報誌の作成。

- ・「介護保険サービス利用」→「状態回復によりサービス卒業」の事例共有。

対応：成功事例の共有。

- ・住民が集まる場所で専門職からの講義。

対応：サロンへ保健師が伺い、健康相談会（住民の意識改革）。健康推進課の保健師がサロンに向き、健康講座を実施（サロンの手上げ制 R6 年度 8 サロン）。リハビリ専門職の関わり。

- ・デイサービス利用は「利用者→支援者→卒業」と変化できないか。

対応：自立サイクルの周知・共有、事業所へ諏訪市の方向性を周知する。

- ・介護保険以外の取組を高齢者に紹介したいが不明。介護保険サービス卒業後の情報も不明。
 - ・地域、ボランティア活動が不明。ボランティアとつながってできることがあると良い。
 - ・本人や家族が「どういう状態になったらどういうサービスがある。」という周知が大切。
- 対応：相談業務に使える情報誌の作成。

- ・元気な高齢者には、施設（GH）に来てもらい、利用者の話し相手等活躍してほしい。

対応：施設で活躍する高齢者の検討（認知症事業との関連）。



2) 自立サイクルの振り返り

R7 年度の地域ケア会議の課題と対応（自立サイクルの振り返り）

1. 現在の会議の課題

- ①参加者のマンネリ化：CM、薬剤師が主。多職種の話し合いをしたい。
- ②話し合いが形になっていない：良い意見は出るが、それが形になっていない。

2. 課題に対し R7 年度行うこと

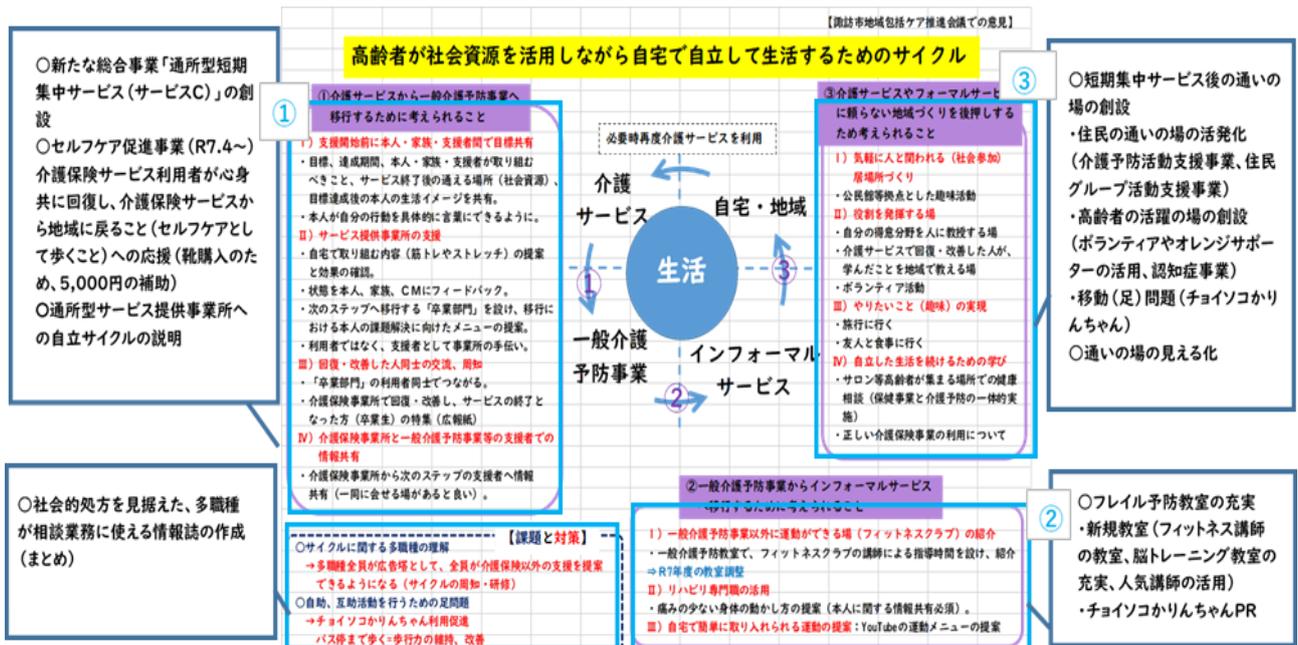
- ・R7.2 田中特命監の講義を受け、「短期集中型サービスが必要」との意見⇒通所型サービス C の創設
 - ・「社会的処方（※1）」を実現するために、相談対応に活用できる「社会資源の見える化」をする。
- ⇒話し合いを形にする。

（※1）医療的な処方（検査や薬）だけでなく、患者さんの健康やウェルビーイングを改善するために、地域活動や社会資源への参加を促す取り組み

→「高齢者が社会資源を活用しながら自立して生活するためのサイクル」における課題にも示した「サイクルに対する多職種の理解」に繋がる。

- ・住民が行っている事（通いの場等）を多職種が理解する。⇒通いの場の見える化

3. 自立のサイクルを加速するための具体策（諏訪市の事業との関連性）



グループワーク

- 高齢者をはじめとした相談支援のどのような場面で様々な情報誌を使っているか？
- どんな情報が充実していたら良いと思うか？また、どのような情報がまとまってほしいか？

《グループワークによる主な意見》

○高齢者をはじめとした相談支援のどのような場面で様々な情報誌を使っているか？

(使いやすさを含めて)

- ・これだけの情報があることを承知していなかった。
- ・お役立ちガイド、高齢者の福祉サービス、医療要覧、もしもしドクター、などを実際使用している。薬局でも医療要覧を使っている。受け入れ先を探したり、連絡先を探したり非常に重宝している。
- ・医療要覧の中の地図は事業所の場所を説明する時に良い。
- ・諏訪広域から出ている介護保険の冊子は金額も入り分かりやすく家族への説明時に使用している。
- ・お役立ちガイドについては、介護保険以外の相談があった場合に使用している。
- ・高齢者の福祉サービスとお役立ちガイドはいつもセットで持ち歩いている。
- ・各施設では、医療機関ガイドマップ、フレイル予防カレンダーなど掲示している。各サービスの案内時にそれぞれの情報誌を活用している。

○どんな情報が充実していたら良いと思うか？また、どのような情報がまとめてほしいか？

- ・情報誌としては十分揃っているが、情報の在処が不明。市のHPに幾つかまとめたり、紙ベースで情報を案内する。周知方法については検討の余地がある。
- ・岡谷市、富士見町、茅野市はいろいろな情報が一冊にまとまっているので、説明する時にも良いのではないか。
- ・シニア大学、シルバー人材などの情報もあれば良い。
- ・利用者へ配布するのはパンフレットの方が良い。
- ・現在のように、情報毎にリーフレットが分かれていると、持ち運びできるのでいいのではないか。
- ・薬局において、ガイドマップの一覧表では、薬の配達しか記載がない。配達と在宅訪問とは違うものなので、そのような記載があれば良い。
- ・通いの場マップには、開催頻度、カラオケサロンは分かるが、名前しかないものはやっている内容の表記があっても良いのではないか。対象者も自分の地区だけなのか、他から来ていいのかななどの表記があればもっと良い。
- ・電子版が欲しい。タクシーを検索するとタクシー情報が出たり、サロン検索をするとサロン情報が出るなど様々なサービスが一括で見られると良い。
- ・趣味の活動一覧があれば良い。
- ・ボランティアの部分での情報の充実については、ボランティアやサロンの情報が欲しい。
- ・フレイル予防などサロンやボランティアにたどり着く前の部分で各種のサービスが案内できるものがまとめていけば良い。
- ・岡谷市のようにまとめた情報誌があれば活用できる。

8月、11月は事例を用いて、相談内容により現在の情報誌からどのように提案に導くかを考え、今年度は専門職が使える情報誌の作成を目指す。

諏訪市地域包括ケア推進会議にご参加ください

日 時 第2回 8月28日(木) 午後6時30分

第3回 11月21日(金)

令和8年

第4回 2月18日(水)

会 場 諏訪市総合福祉センター
(湯小路いきいき元気館 3F 交流ひろば)

QRコードまたはE-mailで

申込方法 ※E-mailでのお申し込みの場合は、お名前、所属名、職種、電話番号
および“参加証のご希望の有無”をお知らせください。



地域包括支援センター TEL : 0266 (52) 4141 (内線 296)

ライフドアすわ

TEL : 0266 (78) 0477 E-mail : info@lifedoor-suwa.jp